

第18回全日本少年春季軟式野球大会山形県予選大会
兼 第24回東北少年軟式野球新人大会山形県予選大会

開催要項

1. 主催 山形県野球連盟
2. 主管 酒田地区野球連盟
3. 後援 山形県、(公財) 山形県スポーツ協会
酒田市、酒田市教育委員会、(公財) 酒田市スポーツ協会
4. 会期 2026年8月29日(土)～30日(日) 雨天順延
5. 会場 SHONAI ENERGY スタジアム(酒田市営光ヶ丘野球場)
6. 日程 8月29日(土) 8月30日(日)
1回戦第1試合 8時30分 準決勝第1試合 9時00分
1回戦第2試合 10時30分 準決勝第2試合 11時00分
1回戦第3試合 12時30分 決 勝 戦 13時30分
1回戦第4試合 14時30分
7. 出場資格 (1) (公財) 全日本軟式野球連盟規程第6条第3項(1)(少年部)に規定する中学生(1・2年生)で構成されたクラブチームでなければならない。
(2) 硬式ボールを使用している団体に登録されている選手は出場できない。
(3) 各地区予選大会で優勝し、当該地区連盟会長の推薦を受けたチームまたは地元地区連盟管内から当該地区連盟会長の推薦を受けたチームであること。
8. 出場チーム 山形2、新庄、米沢、鶴岡、酒田の各地区野球連盟代表チームと開催地(酒田地区)1チーム、前年度開催地(新庄地区)1チームの計8チームとする。
9. 試合方法 (1) トーナメント方式とし、全試合7回戦とする。県予選大会特別規則として、試合時間が1時間30分を経過した場合は新しいイニングに入らない。
均等回完了をもって勝敗を決する。
(2) 全試合5回以降7点差のコールドゲームを適用する。
(3) 7回を完了して同点の場合または試合開始後1時間30分(県予選大会特別規則)を経過して同点の場合は、健康維持を考慮し、いずれもタイブレーク方式により勝敗を決する。投手の投球数制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
(4) 投手の投球制限については、肘・肩の障害予防として、一人の投手が1日に投球できる数は、1試合かつ1日の投球数は100球以内とする。
(5) 指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手を採用しない。
10. 適用規則 2026年公認野球規則、(公財) 全日本軟式野球連盟規程と規程細則および県予選大会特別規則を適用する。
11. 大会規律 不正出場その他規律違反に対しては、全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
12. 使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールM号を使用する。
13. 参加申込 参加申込みは試用期間(過渡期)のため、下記2つの申込みとする。
① 出場資格を得たチームは、所定の参加申込書を作成し、所属地区連盟を経由し、8月20日(木)までに必着するようメール送信にてエクセルデータを送ること。なお、会長印は不要とする。チームから直接送られた場合は正式申込みと認めません。
酒田地区野球連盟 理事長 川守田 義則 yoshinori.kawamorita@gmail.com

②各地区野球連盟事務局は、代表チームが決定したら速やかに県連事務局へ報告する。報告様式は、山形県予選会代表チーム報告様式を用いる。
各チームには、「野球ねっと」に登録している担当者あてに大会申込みの招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加の申込み申請を行うこと。申請後は、各地区野球連盟の承認および県連の承認を得て大会参加が完了となる。申込締切日は8月20日（木）とする。

14. 参 加 料 20,000円とする。試合球3個（12の使用球参照）を持参すること。

15. 組 合 抽 選 この大会の組合せは、2026年2月21日の県連評議員会の席上において厳正に抽選をして決定したものであり、その結果は別紙のとおりである。

16. 表 彰 優勝チーム 優勝旗（持ち回り）・賞状

準優勝チーム 賞状

第3位チーム 賞状

優勝チームには、2027年3月に岡山県で開催される第17回全日本少年春季軟式野球大会への出場権を与える。

優勝チームには、10月3日～4日に福島県白河市で開催される第24回東北少年軟式野球新人大会への出場権を与える。

17. 監督主将会議 行わない。出場チームは、試合開始予定時間の60分前まで大会本部に到着の報告をすること。

18. 開 始 式 8月29日（土）午前8時から行うので、第1試合で対戦するチームの登録選手は全員参加のこと。

19. 引 率 責 任 者 各チームは必ず引率責任者（18歳以上の成人とし、監督を兼ねても良い）を付けなければならない。引率責任者は出発から帰宅までの責任を持つものとし、試合中はチーム全体と応援団等の責任も持つこと。また試合中は、ベンチの中に入ることができる。ベンチの中に入る際の服装は、スポーツ行事にふさわしいものとする。

20. スポーツ安全傷害保険の加入について

スポーツ傷害保険の加入を義務付けることを特に徹底すること。

未加入チームは出場できないこととする。

21. そ の 他 （1）参加申込書中の「守備」欄は、投手、捕手、内野手、外野手を記入のこと。

また、守備位置にかかわりなく、主将以下は背番号の若い順で記載のこと。

参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は原則認めない。

（2）ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手10名以上25名以内と、チーム代表者（引率責任者）マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）各1名とする。

ユニフォームの左袖には、都道府県名を入れること。主将を10番とし、選手は0番から99番の背番号を付けること。

熱中症対策として、保護者2名を必ずベンチに入れること。

（3）チーム責任者及び監督およびコーチは18歳以上とし、チームの引率、応援団等を含め、すべての責任を持つこと。

（4）打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、初日の第1試合で対戦するチームは開始式があることから開始予定時刻の45分前とする。第2試合以降は前の試合の4回終了時とする。

2日目の第1試合は、開始予定時刻の30分前とし、第2試合は前の試合の4回終了時とする。決勝戦は、第2試合終了15分後とする。

- (5) シートロックは5分間とする。
ただし、グラウンド状況や選手の健康維持を考慮し、行わない場合もある。
- (6) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置のみとし、それ以外の責任は負わない。
- (7) 用具及び装具は、公認野球規則で規定されているもののほか、(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用しなければならない。
- (8) 捕手用のマスク(スロートガード付)は、SGマークのついた(公財)全日本軟式野球連盟公認のものを使用しなければならない。
- (9) 捕手は、連盟公認のレガース・プロテクター、SGマークのついた捕手用ヘルメット、ファウルカップを装着しなければならない。控えの捕手も同様とする。捕手のヘルメットは、マスクと一体と成っている物の使用は認めない。
- (10) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、SGマークのついた連盟公認のヘルメットを着用しなければならない。なお、打者、次打者、走者は両側にイヤーフラップのついたものとする。
- (11) 金属、ハイコンバット(複合)は、JSBB公認のものに限る。また、色の制限はないが単色以外の場合は連盟の承認を必要とする。
- (12) 本大会に参加する際、健康保険証等、これに準ずるものを持参すること。
- (13) 前年度優勝地区(酒田地区)の出場チームは優勝旗を持参してください。
- (14) ベンチ側のファウルボールの処理および試合終了後のグラウンド整備は、両チームともに協力をお願いする。